

「仙白園プロジェクト・人」

若林区中央市民センター

1 事業概要

地域行事やボランティア活動に参加し、「地域と出会い」、「地域で学ぶ」ことを目的としています。その中で、「新しい気付き」や「新しい学び」を「新しい動き」につなげていくことを中心に事業を展開しています。また、当センターが仙台市の養種園跡地に立地していることになみ、敷地内に畑をつくり、仙台北菜などの野菜を育てる活動を通して、地域住民と若者が交流する活動も継続しています。



2 今年度の活動

今年度どんな活動をしていきたいか話し合った結果、若林区のことをもっと知り、そこで学んだことをもとに地域貢献や社会貢献をしようというプロジェクトがスタートしました。

若林区のことを知る活動では、若林区で活躍する方々と出会いました。

「わたしのふるさとプロジェクト」の代表を務める大内文春さんからは、東日本大震災で甚大な被害を受けた六郷東部地区の復興についてお話を伺い、大内さんの郷土を愛する熱い思いや優しさに触れました。また、「JR フルーツパーク仙台あらはま」では、所長さんからお話を伺い、荒浜に元々あった道路をあえて残したり、番地の番号を果物の案内板の数字に使ったりするなど、震災前に荒浜地区に住んでいた方々の思いを大切にしていることを知りました。



仙白園の畑で収穫した野菜は、高齢者の配食サービスや子ども食堂を運営する「NPO 法人 あかねグループ」と連坊小路地区で子ども食堂を運営する「BAMBOO 食堂」へも届け、代表の方に地域への思いを伺うことができました。

学びを通して自分たちができることを考え、「野菜の譲渡」や「ビーチクリーン」、「仙台絆サイダーの販売活動」などの地域貢献を行うことができました。サイダーの売上金は、わたしのふるさとプロジェクト主催の「鎮魂の花火」の資金となります。



3 成果と課題

若林区で活躍する方々の話を伺うことで、その人たちの生き方や温かさ、地域への思いなど、たくさんのことを学びました。「自分もこんな大人になりたい」「これからも地域が明るくなるようなことを行いたい」「誰かの役に立てることがあるのなら行動したい」など、体験を通して「気付き」や「学び」を得て、そこから実際の地域貢献活動につなげることができました。

4 今後の展望

これまでの取組を大切にしながら、新しい発想も取り入れていきたいと思います。話し合いの中で、国連で掲げている持続可能な開発目標の「SDGs」にふれた意見がありました。今後も「気付き」や「学び」を大切にし、自分たちが考える地域貢献活動につなげていきたいと思います。